

## 令和6年度第2回栗橋公民館運営審議会開催結果

- 1 日 時 令和7年2月18日（火）10時00分～11時15分
- 2 場 所 橋野ふれあいセンター 会議室
- 3 出席委員 6名  
川崎悦三郎委員長、八幡和郎副委員長、小笠原春美委員、川崎通委員、八木澤江利子委員、八幡裕子委員
- 4 欠席委員 1名  
遠藤朱実委員
- 5 事務局等 まちづくり課 佐藤課長、小池主査  
栗橋公民館 二本松公民館長、佐々木係長
- 6 傍 聴 者 なし
- 7 結 果

・二本松館長が開会を宣言した後、まちづくり課佐藤課長の挨拶に続き、事務局から令和6年度釜石市立栗橋公民館運営経過及び令和7年度運営計画（案）について説明。質疑応答の後、6年度運営経過及び7年度運営計画（案）は事務局提案のとおり承認された。

### 【主な発言等】

- 〔委 員〕 学齢期を中心とした事業の3点について報告する。「どんぐり苗の植樹」は、4年度に植えた苗がほとんどシカに食べられたため、今年度はそこに植えなおした。なかなか難しいが、子ども達は意義を感じ楽しみながらおこなっていた。「水生生物調査」は、子ども達は普段の川遊びで鶴住居川がきれいであることは感じていたようだが、調査によって改めて実感したようだ。「すずこまトマト栽培」は、釜石市とディーニュ・レ・バン市の姉妹都市提携30周年の記念の年ということで市から委託されてチャレンジし、子ども達は大事に育てた。トマトを分けてもらって自分たちで作ったジェラートは美味しくできたし、記念パーティーに出席した方からもトマトのジェラートが大変美味しかったと褒めていただいた。
- 〔委 員〕 栗林小学校のすぐ近くに住んでいるので、子ども達が頑張って栽培している様子を見ていた。一生懸命熱心に取り組んだ成果が出て良かった。
- 〔議 長〕 成人期を中心とした事業だが、新型コロナウイルス感染症が収まって出来るようになったものが多く、皆さんいろいろ頑張っていると感じた。その中で、計画したものの実施できなかったものは。
- 〔館 長〕 「実用小物製作」は、若い母親達を対象に実施したかったが、やはり皆仕事をしているということで出来なかった。「リフレッシュ・ヨガ体験」は、まちづくり課の出前講座メニューから申し込んだが、講師が盛岡からこちらに来るのが困難ということと、市内には講師が見当たらず出来なかった。市内のヨガの活動グループなどを当たって、来年度は実施できるようにしたい。
- 〔議 長〕 私も関わっているが、百歳体操はすごい事業だと思う。昨日誰とも話さなかったという一人暮らしの高齢者、主に女性だが、体操をしてお喋りするということを楽しみに通ってくる。

〔委員〕 年を重ねているので出てくるのが大変だが、当地区でも皆頑張っている。雪で休みになることもあるが。

〔委員〕 超高齢化社会になってきているので、ここにきてお喋りするだけで素晴らしいと思う。

〔課長〕 どの地区でも百歳体操だけは人が多く集まる。これに絡めて、終活の勉強会をやっているところもある。いろいろ事業を絡めるのは良いと思う。

〔委員〕 百歳体操の「百歳」というネーミングが少し引かかるが。

〔課長〕 例えば小佐野地区では「いきいき小佐野」とかにして、「百歳体操」はサブタイトルに表記したりしている。独自で名前を付けてもらって構わないと思う。

〔議長〕 「TETTO 訪問コンサート」と「音楽の力コンサート」、参加者数に差があったが。

〔館長〕 「TETTO 訪問コンサート」というのは初の試みだったのであまり知られていなかったということと、他の事業と重なったということがあり、「音楽の力」の方は震災後から市内各地でやっていて充分に知られているということがあったと思う。

〔議長〕 続いて、高齢期を中心とした事業について何かあれば。

〔課長〕 昨日は唐丹地区で審議会だった。そこも高齢者が多いがこの地区と同じように学校と密接につながって事業を実施している。すごく良いことだと思う。

〔委員〕 やはり市の中心部とは違う山間の地域なんで、学校の存在感が大きい。

〔委員〕 去年栗林小で郷土芸能をやったが、とても素晴らしかった。練習期間中も、児童から地域の大人まで交流ができ、感謝している。

〔委員〕 子ども達が地域の人達に可愛がられて踊りも教えていただき、前の年より格段に上手になっていた。当日は地域の方々にもたくさん学校に来ていただき、各地域の伝統が脈々と受け継がれていると実感した。

〔課長〕 一旦外へ出てもお祭りになると皆帰ってくるし、小さな頃に地域の人達と一緒にやったということは心にずっと残る。昔虎舞を教えた子ども達が大人になり、街中で会うと声を掛けてくれるし、今度はその子ども達が入って来ている。こういう続き方もすごく良いと思っている。地域づくりフォーラムの際に各地区の催しなど資料を集めてDVDを作成した。無くなってしまった郷土芸能もあるが、各公民館地区の郷土芸能を披露する場を作れば良いかなと思う。

〔館長〕 郷土芸能に関しては、地域の方々の次の世代に残していきたいという思いは当然だし、校長先生はじめ栗林小の先生方が地域の声を理解して盛り上げてくださっている。本当に感謝している。

〔議長〕 続いて、地域や世代を超えた事業について何かあれば。

〔委員〕 「餅つき大会」と「ふるさと再発見地域学習会」は、栗橋公民館の支援をいただき、盛況に開催できた。餅つき大会では父親部の皆さんが大活躍で、その時のみずきも学校の玄関に飾ってある。地域学習会、今年は4か所見学したが、どこも素晴らしかった。特にも御神楽杉（おかぐらすぎ）は噂には聞いていたが、その大きさに圧倒され、違う世界、パワースポットに来たように感じた。栗橋地区は偉人も文化財資源も素晴らしいものがあり、学ぶところがたくさんあると感じている。

〔議長〕 「スマホ教室」は難しくて集まらなかったのだろうか。

- 〔館 長〕 今、スマホの講習会を引き受けてくれるところがなかなかない状況で。
- 〔課 長〕 高齢者は携帯の会社まで行くのが大変なので、需要はあるのかなと思う。
- 〔委 員〕 確かに高齢者は多いが、ニュースポーツ交流大会のスカットボールで優勝したり、百歳体操などで皆頑張っている。個人差はあっても、栗橋地区の高齢者は元気だと思う。
- 〔議 長〕 自主活動グループで今休んでいる「男の料理教室」だが、以前はけっこう盛んにやっていた。もったいないなと思う。
- 〔館 長〕 先日の子ども食堂の際に、ある男性の民生委員からやりたいという声が出ていたので、来年は計画してみたいと思う。その際は皆様にもぜひ参加してほしい。
- 〔委 員〕 みどり通信にこども食堂が開催された記事が載っていたが、どのような感じだったか教えていただければ。
- 〔館 長〕 子ども食堂は、現在市内各地で開催されていて、当地区では1月10日に民生委員さんのグループが運営主体となって開催された。栗橋地区はどこでやるにしても送迎の足が無いと無理だったが、社会福祉法人愛恵会さんが地域貢献をしたい、一緒にやりたいということで話が進み、子ども達の送迎もしていただいた。メインの調理は施設の厨房でやっていただき、スープ、サラダなどは会場のシステムキッチンで作った。参加した子ども達は、全校生徒30人のうちの15人と今度入学する子が1人、中学1年が1人、どちらも参加した小学生の姉妹で、計17人だった。内容としては、手話講座をやったり施設にいるプロの方がレクリエーションをやってくださったりして11時から14時まで行われた。
- 〔議 長〕 ちょうどその日、上中島児童館で餅つき大会があり、子ども達が分かれてしまった。そうでなければもっと参加者がいたはずで、それが少し残念だった。
- 〔委 員〕 子ども食堂は定期的開催されるのか。
- 〔館 長〕 出来れば学校の長期休み中、お母さん達が居ない時の子ども達の居場所作り、食事とレクリエーションを提供したい。次は夏休みかなと民生委員さん達とも話していた。
- 〔課 長〕 送迎してくれる方がいるというのが大きいと思う。釜石では小佐野がやってからいきなり増えたが、とても良いことと感じている。
- 〔議 長〕 最近は子供だけでなくお年寄りも対象になってきているようだ。
- 〔課 長〕 子ども食堂という名前を例えば「にぎわい食堂」とかにして、一人暮らしの高齢者とかも参加できるようになど、さまざまになっている。子ども達で気を付けなければいけないのはアレルギーで、初めてやった時もお母さん達からアンケートを取って実施した。あと、夏休み中だと暑い時期なので食中毒にも気を付ける必要があるが、愛恵会さんの厨房であれば衛生的には大丈夫だと思う。是非、ご協力をお願いしたい。
- 〔議 長〕 他に無いようなので、令和6年度事業経過について了承とする。続いて、令和7年度事業計画案について、何かあれば。
- 〔館 長〕 来年度、橋野鉄鉱山の世界遺産登録10周年ということで世界遺産室の方でもイベントを考えているようだ。公民館事業としても、ラベンダー鑑賞会をちょっと拡大しておしゃれなマルシェをやるかと考えている。あと、食育についてだが、小学校で今年度はすずこま栽培を行ったが、来年度は何か栽培する予定は。
- 〔委 員〕 子どもも少なくなったり職員も減ったりして、なかなか畑の方まで手が回らなくなって難

しくなっている。やるとすれば大豆かと。

〔議 長〕 世代を超えた交流ということで、お年寄りの手を借り、力を合わせてやるとか。学校だけでやるのではなく、そのように考えていけば良いかもしれない。

〔委 員〕 地域おこし協力隊員の方にトマト栽培を手伝ってもらい、大豆の時も関わってもらった。来年度も何か関わっていただきたいと考えている。

〔館 長〕 落花生栽培はどうだろうか。

〔議 長〕 落花生は比較的簡単かもしれない。「おおまさり」という粒の大きい品種もあるので、それの良いかと思う。

〔委 員〕 自分も時間がある時はお手伝いできるので。

〔議 長〕 畑は草取りなどに手間が掛かる。そういう時にお年寄りに声を掛けて一緒に手入れしてもらえば良い。一緒にやることにも意義があると思う。

〔館 長〕 地域おこし協力隊員の方は来年度も居るそうなので、相談してよろしくお願ひしたい。

〔課 長〕 その時期になるとテレビとかの取材も来ると思う。栗橋地区を売り出すチャンスかもしれないので、上手くメディアを使いながらやっていきたい。

〔委 員〕 本校が関わる事業の「水生生物調査」だが、今後は隔年の事業と考えているので7年度はお休みとしたい。また、自分は釜石警察署協議会の委員もしており、その会議の中で特殊詐欺の勉強会みたいなことは実施可能なのか聞いたところ、声を掛けてもらえればいつでもということであったので、そのような勉強会なども企画していただけると良いのかと思う。

〔館 長〕 是非、計画させていただきたい。

〔議 長〕 最近「三浦命助関係資料」が県有形文化財に指定するよう県教委に答申されたし、「太田林遺跡」の発掘調査が終わって貴重な資料として残るので、そのような勉強会もあれば良いかなと思う。

〔委 員〕 栗林の里山ウオークで三浦命助の石碑を見学したすぐ後に有形文化財指定の答申をされたり、また太田林遺跡の縄文時代の部分とか、まだまだ脚光を浴びるものがあると思う。

〔議 長〕 事業を入れ替えたり、いろいろ工夫してもらえればと思う。

他に無いようなので、令和7年度事業計画案について了承とする。続いて、「その他」について何かあれば。

〔課 長〕 来年度、釜石市では「本のまちプロジェクト」という事業を考えている。中心部だけでなく、いろんなところで本が読める、借りられるようにしたい。遠いところは図書館まで行くのが大変だし、移動図書館車も回数が限られるということで、応援センターにリクエストを出してもらって文書送達で図書館からその本を届ける。そうすれば移動図書館車を待たなくても良い。釜石市の小学生はけっこう本を読んでいるが中学生以上になると部活などでなかなか難しい。本を読むことは、集中力や学力の向上にもつながる。図書館で毎年かなりの本が廃棄されるが、中にはとても状態の良いものもある。市民に継続して長く読んでもらうために、応援センターにも協力してもらって、そういう本を持ってきて置いてもらったりとか、学校とも連携したりとか、誰でも気軽に本に触れられる環境づくりをしたいと思っている。その際は是非ご協力をお願いしたい。

〔議 長〕 学校では読み聞かせのボランティアの活動などもあると聞いている。

〔委 員〕 図書ボランティアには毎週月曜日に来てもらっているし、移動図書館車も定期的に来てもらっている。小学生はゲームの方に負けそうで、どうしたら本に向いてくれるかどこでも苦心している。

〔課 長〕 あとは家でのスマホをどうするか。メジャーリーガーの菊池雄星君や大谷翔平君は、高校時代の寮ではスマホを持ってないので、いろんな人の本を読んだと聞いている。時間は自分で作れるものなので、そういうことも伝えていければと思う。

〔議 長〕 いろいろ協議してきたが、計画について、またそれ以外にも何かあれば。

〔各委員〕 なし。

〔議 長〕 他に無いようなので、以上で協議を終了する。

〔館 長〕 本日皆様からいただいた意見を参考に、来年度の活動に活かしていくので、ご支援ご協力をお願いしたい。以上で、令和6年度第2回栗橋地区公民館運営審議회를閉会する。